

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	『常に自由で一人ひとりのペースに合った家庭的な雰囲気の中、その人の願いを取り入れ、支え合い、認め合い、家族もともに安心できる生活を提供します』という理念をつくりあげている。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念は見やすい場所に掲載し、日々行っているケアに反映させている。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	2月の推進委員会会議において地域の町内会長、家族に参加して頂き、入居者様の実際のケアプランを通して、理念を目標においた利用者様と御家族に安心して暮らせる事を念頭にしたいケアプランの説明をして理解いただいています。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	挨拶程度ではあるが、入居者の散歩の時などに近隣の方を見掛けたら声をかけている。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に加入、町内行事などには参加させて頂いている。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	6月下旬～7月初旬の推進委員会会議において、地域の派出所の警察の方に来て頂き、地域の皆さんに役立つ事や地域においてのグループホームのあり方、役目を御家族や職員と意見交換し話し合っ行って行きたいと計画しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>なるべく多く利用者と接し、話しやすい環境づくりに努めるようにしている。訴えがあった場合には、意見交換の場をもって開示、対応できるようにしている。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>定期的に報告は行っていない。受診結果や特変時においては、すみやかに連絡を行っている。他、Fa連絡が必要な際や来所時には、なるべく本人の状態をお伝えするようにしている。</p>		<p>月1回ペースで文書などによる利用者の状態報告はしていきたいと考えている。(頻回に来所されるFaには口頭で説明)</p>
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情申し立て窓口の設置。受けた相談内容においては、迅速に対応できるよう心がけている。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフと話す機会は設けている。結果、反映出来ることはするように、そうでない場合も検討の一つとして考えている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>勤務表においてはあらかじめ人員の必要な時には、多く配置している。突発事のフォローが出来るような体制にもしてあります。やむを得ない場合においても、利用者、Faの都合に合わせ、勤務変更なども柔軟に行えるようにしている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の面接時には、離職することは利用者へのダメージが大きいため、長期的に働けることを前提に面接、採用を行っている。またやむを得ず離職する際には、利用者へのダメージが最低限で済むようにケアにあたっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>勉強会の設置・開催や内・外部研修への参加を行い、良いところを吸収できるように参加者はレポートを提出するなどして、職員も学べるようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>外部研修などに積極的に参加し、サービスの質の向上に努めている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>時に話し合いの場を設けたり、休日の調整に応じたりしながら、ストレスを軽減できるように努めている。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>全体会議やユニット会議などにより、話し合いの場を設け、各自向上心の持てるような環境作りをしている。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>コミュニケーションをなるべく取れるような環境作り、本人の訴えに傾聴。不安軽減出来るよう気を配っている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前より、直接のご相談であればFaと、仲介がある場合にはケースワーカーと、よく話せるように連絡、情報交換など密に行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人・Faからの相談時には随時時間を十分にとり、介護保険等有効に利用できるサービスの紹介を行い、不安を解消して頂けるよう努力している。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に施設内見学の時間を十分に取し、場の雰囲気に慣れて頂く事から始め、状況によっては試験入居も行っている。本人やFaに安心、納得頂いた上でサービス提供を心がけています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	毎日を共にする家族と考え、一方的に意見を通すのではなく、互いの事を考え、話し合い、理解しあえるよう特に入浴や散歩の支援をしています。		
28 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の状況や訴えを細かく家族に伝えると同時にその都度、職員の支援をしていることにより対応は出来ています。と御家族に安心して頂くと共に、職員で埋める事が出来ない寂しさを会いに来て頂き支え合える関係を築いています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族を一番の支えとしている利用者様が多いので、奥様もご高齢であり、健康状態、生活状態も考慮し、職員で出来ることは支援し、ご本人と御家族が笑顔で会えて楽しい一時間が過ごせる様支援しています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	相川HPの入院歴の長い利用者様も多く、定期受診に行くと職員や入院患者さまや通院の方とコミュニケーションをとったり、独居生活の支援をしてくれたヘルパーさんが違いにきてくれます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食事に食堂へ誘いあったり、病院の受診時、利用者様同士手をつないだり、転ばないよう配慮されたり、座席を譲りあうなど支え合う姿勢が自然とみられます。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院治療の要する利用者様が退居となっても、外来受診時、病棟に寄り見舞っています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	スタッフや人の役に立ちたいと思いの利用者様は洗濯物をたたんだり、食器を拭いたり、家事に努めています。他、スタッフの見守りなく自由に外で歩行運動を希望されたり、自室でパソコンをされている方もいます。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族の仏壇を置かれたり、和式の布団で就寝される利用者様においても毎朝布団をたたむ支援をする方と万年床を希望される方がいますが、衛生上布団干しなどの支援をしています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	1日20分ほどの散歩を行い夜間不穏なく良眠して頂く様に支援したり、肺の疾患のある利用者様は短距離の散歩や状態に合わせホールでラジオ体操を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	モニタリングにより、ケアプランを作成にあたりスタッフで話し合い、完全に出来ない課題については、細かく詰めて、全員が同一の支援や対応が出来る様新しいプランを立てています。排便困難や夜間不穏、介護の抵抗などは、医療機関の連携を図るため申し送りや記録の管理をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	骨折や状態の変化により、現状にあった計画を作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	スタッフが一目瞭然に把握出来るよう個別の記録を重視しています。状態の管理として医師の指示により、毎日の体重、浮腫、食事摂取量、水分量、排便など情報の共有し、体重の減少を気づき、おにぎりにしたり、朝食摂取の少ないことにより好物のトーストとコーヒーで対応する。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	利用者の帰りたいという切望を懇願され、家族との柔軟な対応により外泊はできないけれど、一晩ホームに泊まって頂き、気持ちを落ち着かせその時に出来る対応をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	次回の推進委員会に地域の派出所の警察の方にご協力を頂きたいと考えています。昨年の年末のクリスマス会で地域の実業高校生により和太鼓の実演を披露して頂き、敬老会でも幼稚園児による余興をご利用者と御家族に喜ばれています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	御本人の必要性に応じて、他のサービスの利用が出来るよう支援しています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターの主任ケアマネの方が2か月に1度、研修会のお知らせを定期的に訪問に来られ、権利擁護については相談していませんが、情報交換をしたり、いつでも相談に応じて頂ける体制はできています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	月2回の定期受診にて日常の状態を把握チェックし、健康状態を報告出来るような記録に基づき、各々の健康管理、医師の指示による様子観察、状態を熟知しているからこそ採血や注射に看護職員がホームに出向いて対応しています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医に1か月に1回の定期受診により、日常生活状態の様子や服薬後の様子観察し報告、相談する事で穏やかに生活できるよう支援しています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師が常勤で配置、健康管理等行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関との連携は出来ており、迅速な対応が出来るようにしている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	Faへの説明、スタッフの介護方針を統一し、医療機関との連携も取りながら、いずれもきちんと連絡が届くように情報共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	Faへの説明、スタッフの介護方針を統一し、医療機関との連携も取りながら、いずれもきちんと連絡が届くように情報共有している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	十分な情報提供を行い、利用者にダメージのないよう配慮している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	1人1人いかなる場面でも尊重した言動や態度で支援ができるようこころがけています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日常生活において自己決定の出来る能力にあわせ、2種類からの選択や「はい」「いいえ」の意思の傾聴を基本とし、希望の表出ができるようなゆっくりした時間や静かな環境で1人1人向き合える支援をしている。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入浴の希望時間や散歩の支援、半日外で気ままに過ごされる方、喫煙なども希望に応じ最後まで安全に支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご自身で洋服を選択出来ない利用者には、職員が違う色やデザインの服を2～3種類提示し自身で着たい服を決めて頂く。月1回床屋さんに来てもらっています。美容室を希望される方は、ある程度認知症を理解している美容室に待つ苦痛のない様に送迎して頂き、気分を楽しまれ、髪染めも希望により、職員が購入し支援しています。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	一人一人の好み、麺類を食べない方、パンを食べない方など情報を職員が共有し、別の献立で対応したり、小食の方にはおにぎりに対応するなど工夫し、片付けや準備もできる方にお手伝いしていただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒を希望される方はいませんが、職員と一緒に買い物に行き、食べたいおやつを選んだり、3時は職員の手作りなど同じおやつを提供しますが、10時は皆さんにコーヒーかココアを提供し各々好みのおやつ、トーストにジャム、プリン、ヨーグルト、果物等を食べられ、タバコも食後に楽しまれています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の失敗を軽減する為、排泄チェック表に記録し把握する事により、排泄の毎日のパターンやその日の精神的、体調など考慮し声掛けや誘導しています。特に、便のコントロールは主治医と綿密に調整し、食欲不振や便秘による苦痛のないよう支援しています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的に月曜日、木曜日を入浴日とし、受診や用事を最小限にするべく避け、1日ゆっくり時間に余裕をもち、安全に事故のないように支援している。只、一人一人の好みで、温泉のような外の景色を楽しめゆったりした大風呂か、プライベートを大事にする一人のユニット風呂かを選び楽しまれています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の休息も自室のベットや馴染みの椅子で休まれたり、ホールのテレビを見ながらソファで横になられたりしています。夜間もベットの方、布団の方、電気を付けている方、暗い方、ラジオや音楽を聴かれる方、日中散歩や運動をして良眠される様支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	主婦の方は、掃除や洗濯干しやたたむ事、食事の片付けの手伝いをされたり、レクリエーションをどうした遊びからスポーツ好きの方のキャッチボールまで、子育てされた方の童謡からスナックの好きな方のマイクでのカラオケ大会。畑仕事や散歩、花札など支援しています。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族からもらったお金を自己管理されている方もいますが、皆さんホームで預かっています。趣味が多く欲しい物がある方は、残金を気にされ購入する物の予算など職員に相談するなど支援しています。近くのお祭りなど力に応じてお金が使えるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本人からの希望により、ひなたぼっこや散歩などの支援は随時行っている。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言っていたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	Fa参加のもと、季節毎の野外行事など企画し支援している。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	基本自由である。但し、Faより制限がある場合には考慮して連絡を取っている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	玄関先には椅子や、ホールにはソファを設置しているため、いつでもくつろげるような空間を提供している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員に周知、徹底し行えている。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠は、防犯上20時～7時まで。必要以外は鍵はかけないようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常時見守りを行い必要時には声かけを行い、安全確認を行っている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	基本的に刃物などの危険物は持ち込めないことになってはいるが、1人1人の状態に応じ、職員間での確認と情報交換を密に行いながら、問題がなければ対応するようにしている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	あらかじめ危険予測は個人の状態に応じて行っており、それに伴う状態の勉強会、資料などを用いて事故の防止に努めるように取り組んでいる。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時の対策マニュアルを作成し、全職員が迅速な対応ができるよう事故が発生した場合には、再発防止のため会議を設け、対策を検討している。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練を実施している。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ひとりひとりの状況を常に把握しリスクを軽減できるようにしている。異変時にはどう対応するかF aに相談した上で決定している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	常に個人の健康状態は把握できるようにしており、異変時には迅速な対応が出来るようにしている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ある程度の内容は理解しているが、全員が理解できているとは言い難い。薬効の表出具合などの判断も、全員が出来ているとは言い難い。		基本薬剤関係はNSが専門で管理しているが、薬効表出の変化にも全スタッフが気づいていけるよう、勉強会やミーティングなどで深めていきたい。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘の原因や及ぼす影響を理解した上で、その原因に合った形での予防方法を行い、解消できるようにしている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	必要な方には口腔ケアの援助を行っている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取量は毎食時にチェック。トータル的に個人にあったものか確認している。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	その時期に流行する感染症には、マニュアル作成しスタッフ全員に予防・対応できるような形を取っている。インフルエンザについては予防接種を毎年行っている。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	消毒液を使用し、衛生の確保に努めている。職員にも周知徹底を図っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> <p>安心して出入りできるような環境下にはある。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>一般の家庭に近いような環境作りをしている。季節感を出せるような飾りなども飾って、よりいっそう味わって頂けるように工夫している。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> <p>居室、ホールの使用により、思い思いの状況下で生活できるよう支援している。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>基本的に本人が過ごしやすい環境を考慮し、使い慣れたものを持参するようにも促している。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> <p>換気・冷暖房の調節は職員が随時行っている。窓の設置も多いため換気は十分行える状況にある。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>安全に生活できるよう、段差はほぼ無いような構造になっており、必要箇所には手すりやスロープの設置がある。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している。	個人の残存能力を活かした支援を心がけている。失敗や混乱による喪失感がない ように出来ないことにはスタッフが一緒に行うなどして工夫している。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている。	畑、物干場、園芸スペースがあり利用者が活用できるようになっている。		

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大いに増えている <input type="checkbox"/> 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> あまり増えていない <input type="checkbox"/> 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)周辺に介護施設が点在する福祉村に位置し、閑静で自然豊かな場所に広い敷地を有効活用し、ゆったりとした空間を提供しています。共有スペースは吹き抜けの構造となっており、陽光が射し込む開放感のある場所となっており、入居されている方はゆっくりとのびのび過ごすことができます。また大型スクリーンとプロジェクターを設置しているため、映画やビデオ鑑賞が迫力ある環境で鑑賞できます。